

のがあるだろうと思っていますので、そういうところも是非力を入れていただいて、これに長けた地域おこし協力隊の方々もだいぶ入ってきていただいていますので、そんなお力も借りながら、町の良さをどんどん発信し、またここに来られた方々から今の飯綱町で欠けている部分などもいただきながら、良い町づくりにということをやはり取り組んでいただきたいと思います。

ホームページについてもリニューアルがされたということですので、その活用と効果に期待をさせていただきながら、私の質問を終わらせていただきます。

○議長（清水満） 伊藤まゆみ議員、ご苦勞様でした。

以上で午前の日程を終了いたします。

これより休憩とします。再開は午後1時とします。

休憩 午前11時13分

再開 午後 1時00分

◇ 清 水 均

○議長（清水満） 傍聴者の皆さん、おいでいただきましてありがとうございます。

それでは休憩前に引き続き会議を再開します。一般質問を続けます。

発言順位9番、議席番号1番、清水均議員を指名します。清水均議員。

〔1番 清水均 登壇〕

○1番（清水均） 議席番号1、清水均です。通告に従いまして順次質問させていただきます。

最初に、集落創生事業の推進についてお伺いいたします。

町は、住み慣れた地域に住み続けられる町形成事業の一環として、集落創生事業を進めているが、集落の新たなコミュニティづくりに繋がる大変重要な事業でございます。

昨日の同僚議員の質問にも出ていましたが、50集落のうち、現在既に計画済みの集落は、上村、横手、中宿、古町、普光寺東部、普光寺中部の6集落であります。また、今年度計画予定は、福井、四ツ屋、川北西部、川北東部、原二の5集落で計11集落です。残り39集落、約80

パーセントはまだ実施されていません。

昨年12月の一般質問の中で、中宿地区の集落活性化事業を発表させていただきました。各家庭の家宝、絵画、小中学生の習字、思い出の写真、そして軽喫茶等の大変好評の場でありました。毎年続くことを期待しております。

また、昨日の説明にもありましたが、古町地区の活性化事業の構想を区長から4点ほどあるとのことをお聞きしました。その1点として、国道18号線古町地区にあるレストランックの下の約50メートルの荒廃地に、花桃を数百本植えて公園化する準備を進めるために、この春には、阿智村、旧清内路村に行って、花桃等を27名の参加者で視察してきたそうです。また、集落内の町道沿いに桜や花桃を植えて花の集落にする構想を持っているとのことでもあります。

2番目として、集落内の文化財である一茶の句碑の3メートルの案内柱を5月に権現坂下に設置、また願法寺の参道両側にお茶の木が植えられており、願法寺茶垣参道の案内柱を設置したとのことでした。

3番目として、集落の中央に15メートルのアルミポールを設置し、支えてあって楽しく暮らそうのスローガンを掲げるそうです。

4番目として、今年の8月から、公民館と区で古町未来プランプロジェクトを立ち上げ、古町歴史と文化の構想を立ち上げるとのことです。住民の方々に、古町の集落に住んでいるという愛着と誇りを持って欲しいと話されておりました。

こうした取組を順次進め、集落創生事業を見える化することとしております。これもやはり、強力なリーダーがいる集落は、事業が進み、成果が上がっているようです。そこで、ダブるところもあると思いますが、よろしくお願ひします。

今後の集落活性化事業対策について順次伺っていきます。この事業に取り組んで3年目になります。町として、この事業への進行状況や現状到達点について、町長と担当課長にどんな評価をしているかお伺ひいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） お答えを申し上げます。議員の質問は、非常に盛りだくさんの質問をいただいておりますので、答弁も端的に申し上げたいと存じます。

まず、この事業自体の狙いをご理解をいただいていると思います。これからの集落を維持していくために、集落の皆さんの自主的な動きによって、何とかそれを維持してこう、そのためにご支援をしましょうという目的でスタートをしております。

私は、そういう意味ではこの集落創生事業は、飯綱町が発展していくためには不可欠な事業だという捉え方をしておりますけれども、思った以上に事業が進まない。この1番の原因は、今、先進的に取り組んでおられる6地区は、議員おっしゃったとおり、素晴らしいリーダーとなる人がいらっしゃるというのが共通したことでございます。

私たちはいつも言っているわけですが、そんなに地元で素晴らしいスーパースターのような人たちだけを選抜して選んでいただくということまでしなくても、どうかひとつ、日頃はあまり意見を言わないような人も含めて、なるべくなら20年、30年後に60代、70代を迎えるような、今から言えば30代、40代の人たちの男女を集めてだけ欲しいということです。区長さんに是非リストアップ、あの人とあの人なら良いのではないかと、そういう推薦だけいただければ、あとは私どもが出掛けて行って、実はこういう事業もできるし、そんなに固く構えていたでなくても結構ですとか、いろいろな話をして、お手伝いができると思っています。

私の住んでいる平出区も含め、選抜をしていただきたいという願いを度々申し上げているわけですが、2年の役員の任期の中では、最初の1年は忙しかったし、2年目になればもうバトンタッチだというようなお考えの人が多いわけですが、どうかひとつ、長い間、一緒になって研究していただけるような選抜さえしていただければ、私はこの事業は、いろいろな意味で大いに進んでいくだろうと感じております。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） お答えしたいと思います。進行状況の評価ということでございますので、評価ということでお答えをさせていただきたいと思っておりますけれども、現在の取組状況でご

ございますが、議員から今お話のあったとおりでございますが、この他に制度の説明会を実施させていただいたところ、先ほどの11地区のほか14地区ございます。

先ほど議員からお話がありましたとおり、計画策定中が5地区、それから計画策定済みが6地区ということで、14と5と6合わせますと、50集落中25地区が集落創生事業の説明会を実施したり、また計画を策定、または事業を実施したりしている状況でございますが、この取組状況を見ますと、若干難しく捉えられていて取組が遅れている集落もあるわけですが、この事業の目的ですとか、重要性がだんだんと理解されてきているものと担当課では評価をしているところでございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 今、25集落あるそうですが、あと14集落はどの辺になりますか。課長お願いいたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） 説明会を実施している地区でございますけれども、11地区のほかには、坂上区、栄町区、東黒川区、それから倉井区は区全体でやられていますので、この辺は組の数でカウントさせていただいておりますし、赤東区も全体でやられておりますので、組全体でカウントさせていただいておりますけれども、これらを合わせますと14地区で説明会を開催しているという状況でございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 進んでいる集落の特徴と教訓は何かについてお伺いします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） 先ほど議員からもお話があり、また町長からも答弁させていただいたとおりでございますけれども、計画の策定まで進んでいるところの状況を見ますと、議員に昨年12月の一般質問の際にも答弁させていただいたわけでございますけれども、やはりいずれの

地区も若者であったり、女性であったり、こういった方を中心としたけん引役、強力なリーダーがいるということだと思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） それでは少し飛ばしていただいて次の方に入ります。

議会は、2014年の6月17日付で集落機能強化と町行政との協働の推進のための政策提言書を提出し、2014年9月26日付で飯綱町集落振興支援基本条例を制定しました。

その第6条において、政策の策定等に関する指針を定めております。そこで伺います。6条の括弧7で、集落における空き家対策も含め定住促進を図ることとありますが、空き家が昨日の話ですと、約120軒あると言っておりましたが、空き家対策及び定住促進はどこまで進んでいるか。また、町として独自策はあるか。さらに10年後、20年後の空き家軒数はどの程度を予想しているかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） 定住促進と空き家対策というご質問でございますけれども、まず定住促進についてでございますが、正に飯綱町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づきまして、各種事業を進めておりまして、飯綱町の実情を踏まえ、推進交付金という国の交付金も活用する中で事業を展開させていただいているところでございます。

この中で空き家対策についても進めておりまして、集落支援プログラム等でも報告させていただいておりますけれども、平成29年度では住もうプロジェクト事業、また移住、空き住宅活用、三世同居促進事業、こういった事業に取り組んできているところでございます。

また、本年度30年度につきましては、昨日、総務課長からも話がありましたけれども、株式会社ゼンリンが住宅地図の更新を行う予定にしております、ゼンリンが全棟の調査を行う予定と聞いております。町もゼンリンの全棟調査に併せたかたちでの空き家調査をゼンリンに委託しまして実施していきたいと思っております。この成果につきましては、データとして取りまとめ、空き家台帳の更新をしていきたいと考えております。

空き家関係の実績でございますけれども、今の空き家台帳の関係になりますが、平成 26 年度に空き家かどうかの空き家調査を行っており、約 120 棟というお話をさせてきていただいておりますが、実際には 118 棟の空き家を把握しております。その後、平成 28 年度には実際にそれが使えそうかどうかの追加調査を行っており、そのうち 30 棟が使えそうであることを把握しております。118 棟について写真などで確認の上、現地確認も実施し、30 棟とういうことで把握をしたものでございます。その中から所有者と連絡の取れた物件ですとか、別途登録申込みのあった物件等を整理して、空き家バンクとして登録をしてくれているということです。

若干関係しますので、空き家の状況を少しお話させていただきたいと思っておりますけれども、町の空き家バンクの登録状況でございますが、不動産業者さんが仲介しているものは除かせていただいておりますけれども、平成 28 年度末で町の空き家バンクの登録が 4 棟ございました。平成 29 年度末で 13 棟と増えております。平成 29 年度中にこの町の空き家バンクでは、貸借等の契約が成立したものは無いという状況でございます。

要因でございますけれども、比較的条件の良い物件については、町の空き家バンクに登録することなく不動産業者さんが仲介し、契約がされていること。町の空き家バンクに登録された物件のうち、貸借希望というのは 1 軒だけでございまして、先ほど 13 軒あるというお話を申し上げましたが、貸借を希望しているのは 1 軒だけで、残りの 12 軒は売買を所有者の方が希望しております。売買を希望しているのに対し、空き家を探している方はほとんどが貸借、借りたいという希望でございまして、双方の希望が合わないという状況になっているものでございます。

また、空き家関係の補助制度の実績でございますけれども、移住定住促進、中古住宅等購入費補助事業、中古住宅の購入費の補助でございますけれども、40 歳未満の方を対象に行っておりますが、29 年度で 1 軒。未来の三世代同居家賃応援助成事業ということで、40 歳以下の方を対象に家賃の補助をしているものでございますが、アパートは除き戸建てということになりますが、平成 29 年度で 5 軒となっている状況でございます。

町としての独自策というご質問でございましたが、今申し上げてきたとおりでございます。

10年後、20年後の空き家軒数はどの程度を予想しているかということでございますが、増えていくものと予想はしておりますが、具体的に何軒という数字までは持っておりません。町の補助制度の見直しなども検討しながら、不動産業者さんなどとも連絡を図り、できるだけ少なくする取組を進めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 10年後、20年後と聞いたのは福井団地に関係ありまして、後継ぎがないわけです。家は建っても後継ぎがないので、後をどうするのかということで聞いてみたわけですが、そういうことで10年、20年後のことについては分からないと思いますが、一応頭の中に入れておいてもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

次の6条の10で、集落の課題を住民とともに調査研究するとありますが、この点について町はどんな努力をしてきたか。また、組織は作ってあるかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） これに対して、それだけの特別な組織を作らしようというアタックはしてございません。正しく前段から申し上げてきております、地域をみんなで考えようという組織の中で集落の問題点をみんなで出し合って、話し合っていこうという目的で、そういう会を作ろうと、今、一生懸命に努力しているとご理解いただきたいと思います。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次に3でございますが、6条8で集落を超えた連携を推進することとありますが、例えば消防、公民館活動等の連携を促すなど、推進しているかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 集落間の協働というようなことで言いますと、三水地区は赤東区、倉井区、芋川区、普光寺区等々、そういう区の組織がしっかりしていますから、その中の連携というの

は案外取り組みやすいと思っていますけれど、旧傘礼の方は、それでも福井と四ツ屋を合わせて、あずまという呼び方で共同したり、例えば平出、番匠では、1つの農業集落排水等を共同で管理運営をしたり、東西黒川は神社が1つというようなことで、いろいろな意味での連絡会をやって話し合いを持っている。そういう結び付きというようなものは、今までも積み重ねてきております。そんなことを基本にやっていくしか今のところはないのかなと思います。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 高岡地区の方、例えば地坂とか、志賀とか、そういう関係あるわけですが、その辺はまたうまくまとめていってもらえかと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 確かに志賀地区、袖之山、地蔵久保、坂口とか、いろいろな結び付きがあるわけですが、どうしても消防は成り立たなくなったという地域もありますし、お祭りも残念ながらできなくなってしまったというのは、これは三水地区にもそういう場所が発生してきておりますけれど、そこら辺をこれからどういう連携をすれば良いのかという、今度は組織、組、集落という単位をどういう単位で持っていけば良いかという、そういう大きな課題だと思っています。

現実の取組として素晴らしかったのは、倉井区が確か北川の皆さんに呼び掛けて町民運動会と一緒に出場したこと、その後みんなで慰労会も一緒にやったというようなことが、1つ、2つ、3つと出てくれば、そういう意味では、良い1つの実践的な試みとして評価できるのではないかと思います。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） できるだけ、そういうふうにまとめていただければと思います。小さい集落がだいぶあるものですから、その辺もまたお願いしたいと思います。

次に、町が進めている活性化プラン作成、またそれを実行するため、5年間で300万円の補助金を交付する制度は大変評価できますが、できれば50集落の全てに取り組んで欲しいと私は

思っています。町はどのような見通しを持っているか。また、5年後の取組、集落の目標は明確になっているかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） それではお答えをしたいと思います。先ほど答弁させていただきましたとおり、現在、25地区で取組が始まっています。説明会を実施したところも含めてということでございますけれども、職員の地域担当制によりサポートをする中で、早い時期に半数以上の地区において、将来プランが策定されるように取り組んでいきたいと考えております。

5年後の目標でございますけれども、飯綱町総合戦略におきまして、このことが書かれておりまして、平成31年度までに50集落全てが将来プランの作成を行うことを目標としていただいておりますが、この目標に向けて1集落でも多くの取組が進むように今後努めてまいりたいと思っております。よろしくお伺いいたします。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次、括弧6になりますが、職員の集落担当制について伺いますが、これも昨日、同僚の議員が質問したので、1と2は省略させていただきます。別の方面から質問させていただきたいと思っております。

1として、読んだとは思いますが、自治が育つ学びと協働、南信州阿智村の本の中で、地域づくりは地域の人たち、子ども、お年寄り、障がいを抱えている人たちも含めて参加し、暮らしの中に課題を見つけ、住民自身が主人公でなければ地域づくりとは言えないが、地域担当職員も協働で学習し、協働に実施、運営に当たるということも必要であります。

やはり、地域担当職員も地域に出掛け、地域の人と向き合い、現場から学ぶ姿勢が必要ではないかと思っております。このように進んでいない地区に出掛け、初動期には地区担当職員も積極的に事業を補佐しながら、地域住民と一体となり運営する必要があると思っておりますが、町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） もっともなご意見だと思いますが、私も今、この職員の地域担当制については、朝の課長会でよく議論をさせてもらっています。それは、どうかたちで職員を地域に参画をさせていけば良いのか。現実的には、職員が公民館の主事とか、分館長をやっているところでさえございます。責任者として公民館活動に取り組んでいるという地域もございます。場所によっては、そんなに来てもらわない、必要があればこちらからお呼びするからという区もございます。

例えば、私が1人の職員として、自分の集落の平出区へ行って何をしゃべってくればいいのか。黙って聞いていて何か聞かれれば答弁すればいいのか。そこら辺の位置付けが非常に難しいというのが今、これだけ期待をされる割に動きが見えてこないという、そこに大きな原因があるのではないかと考えています。

従って、今回の先ほど申しました集落創生事業、いわゆる検討していただくメンバーさえリストアップしていただければ、例えばそういう人たちにご通知を出して集まってもらって、そこでいろいろな話をする中で、例えば福井団地区ではお祭りみたいなものをみんなで盛り上げてやったらどうだとか、平出区は荒廃地も多くなったし、公共バス使ってうまい方法は何かないのかとか、次から次へといろいろな話し合いが展開できるようなかたちを取れば良いのではと思っているわけですが、正直言って、職員をどうかたちで地域に参画させていただくか、これをもう少し研究したいと考えています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 是非、成功するようにお願いいたします。

次に、町を元気にするために行政は地域活性化を官民共同で積極的に推進しております。例えば、ラーメン課、まねきねこ課等の愉快的なアイデアを交えた課を作り、好評になっているとのことです。町長の感想をお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） それぞれの地域によって、すぐやる課など懐かしいものがありますが、そういう意味では、今、町が急務としている子育て未来推進のそういう担当室を作ったり、または企画課の中に地域振興係を作ったりと、いわゆる変わった名前ではないですけど、必要に応じた対応は現実としてはしてきていると認識しています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次に、キッチンカーもイベント会場のみではなく、各地に出掛け、例えば移動喫茶等で家に残っている人たちの話し場として、大いに活用することが必要ではないかと思いますが、あそこにいつも置いてあり全然動いていないものですから、せっかく700万も掛けてやっているわけですから、何とか地域出してもらって、お茶飲みながらやったらどうかと思っておりますがお願いいたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） お答えしたいと思います。前回は議員から同様のご質問をいただいております、その後、キッチンカーにつきましては、植田地域おこし協力隊員を中心に活用を図っているところでございます。

利用状況につきましては、前回ご説明をさせていただいたとおりでございますけれども、比較的、このキッチンカーにつきましては、やはり土日のイベントに出掛けることが多くなっておりまして、どうしてもあそこへ止めてあることが多くなっております。ただ、止めてあってもただ止めてあるわけではなくて、あそこにながら営業しているという日もありますので、是非、お立ち寄りをいただきたいと思っておりますし、今、ご提案がありました移動喫茶、そのようなものも植田地域おこし協力隊員に呼び掛けて、できるようであれば実施をしてみたいと思います。

キッチンカーでございますけれども、先日、議会モニターさんからもご提案いただいたりしております、その貸出しについても、現在、保健所などとも相談の上、検討させていただいているところでございまして、議員おっしゃるとおり、大きなお金で購入しているものでござい

ますので、有効に活用してまいりたいと思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次の項目に入ります。パワーリハビリテーションの成果についてであります
が、福井団地でのパワリハは、導入してから1年以上経過しましたが、その成果と評価につい
てお伺いいたします。

福井団地の人口は、2,200人のうち65才以上が約730人で、全体の33パーセントになりま
す。このうち、パワリハに参加している方は74人で約10パーセント、参加の延人数では2,385
人となっております。この参加状況を町はどう評価していますか。また、多くの方を参加させ
るための方策はあるかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 山浦保健福祉課長。

〔保健福祉課長 山浦克彦 登壇〕

○保健福祉課長（山浦克彦） 答弁させていただきます。福井団地のパワリハにつきましては、
28年度の生涯活躍のまち推進事業ということで取り組んだところですが、その中に議員さんも
委員として参画いただいて実情はご存知だと思いますが、パワリハの人数につきましては、28
年度38名で始まりまして、29年度に36名が加わりまして現在74名ということ です。

携わる指導員さんが15名おりまして、組織としては現在、パワリハの会という組織で運営さ
れています。介護事業の総合事業B型ということで運営がされていまして、当時の生涯活躍の
委員さんから構成されたメンバーで、地域の住民が支え合うという事業で、総合事業で取り組
んでいるものです。

生涯活躍の目的と事業計画につきましても、その当時の委員会組織で福井団地の今後を見据
えた中で、福井団地の高齢化率を支えるという位置付けで構築されていますので、地域の皆さ
んで支え合うという1つの事業ですので、成果として目的は達成していると考えています。

人数につきましては、現在、推移している段階ですので、母体の組織の皆さんからはこれか
らも随時募集していくというお話も伺っていますので、地域の皆さんがどんどん活躍してい
ただければと考えております。評価としては、高い評価と考えております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） もう1つ、多くの方を参加させるための方策は。

○議長（清水満） 山浦保健福祉課長。

〔保健福祉課長 山浦克彦 登壇〕

○保健福祉課長（山浦克彦） 参加させる方法につきましても、その組織の皆さんにお任せして運営していただいていますので、組織並びに福井団地の皆さん全体で運営方法を考えていただくのが筋だと思っています。

方法は、地区の問題、課題を解決するための1つのアイテムとして、独自の組織として、区として、募集要項など、方法を検討いただけたらと思っています。以上です。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 今、その会長さんが来ておられますが、また相談しながらやっていきたいと思しますので、よろしくをお願いします。

次に、今後さらに2か所で計画とのことではありますが、参加者を広げるための具体的な方策を考えているかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） パワリハについては、民生委員会にお邪魔した時にも福井団地から選出されている民生委員さんが中心でしたが、非常に男性の参加が他の集まりに比べると多いということでした。そして、膝が痛くてなかなか歩きにくかった人が、極端に言えばさっさと歩けるように回復してきていらっしゃる方もいましたと言われました。

それとか、男性としては珍しく集まって、汗を流した後、隣近所の男性陣と雑談したり、この次はゴルフでも行くかというような話をされたりということで、良い意味でコミュニケーションが取れる場の提供にもなっているというお話を聞いて、非常に私は素晴らしいことだと思いました。大きな意味では、男性がいかにあのようなところへ出てくるかというのが大きな課題だと思っていましたもので、他の地区からもパワリハが欲しいという声もだいぶ聞くように

なりました。そのようなことで、今回深沢地区にもパワリハを設置することになり、たぶん相当の人が集まって参加してくれるのではないかと考えています。どんどんオーバーフローするほどの人を集めても、それはまた大変だと思いますけれども、今の現実をお話する中で、たぶんものすごく広まっていくのではないかとそんな感じを持っています。これからも赤東地域、また西地区等々にもしかるべきスペースがありますから、保健福祉課と相談しながら考えていきたいと思っています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） たくさん作ってもらうのは良いですが、来られない方がいると思います。そういう対策はどのように考えているか。

○議長（清水満） 山浦保健福祉課長。

〔保健福祉課長 山浦克彦 登壇〕

○保健福祉課長（山浦克彦） お答えします。現在、総合事業のBという事業を実施している地区が他にもございます。地域で支え合って軽い運動をしたりする事業ですが、福井団地と同じです。ただ、その地区では通所作業のBのほかに、Dという事業も展開しています。訪問型サービスDというかたちです。これは、移動支援を行うという事業で、住民主体で移動支援を行うという事業です。パワリハの会でしたらその会場までお連れするという、それも地域の支え合いの1つの事業でされていますので、その活用についても福井団地地区のパワリハの会の皆さんにはもうお伝えしてございます。支える人が構築されれば新しい事業展開ができますので、そういう方の移送は可能だということになります。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 是非、誰もが来て健康で長生きできるような対策をお願いしたいと思います。

次に気象変動に伴う豪雨等の緊急箇所対策についてでございますが、近年、集中豪雨が全国各地で発生し、甚大な被害が出ております。そこで、町としての緊急対応についてお伺いいたします。

今年の3月の一般質問でもお伺いいたしました。福井団地コミュニティセンターのグラン

ドは災害時の避難所となっており、また下方には保育園の駐車場があります。そのグラウンドを支える盛土箇所の高さが駐車場からグラウンドまで約 4.6 メートルあります。その盛土を支える平板擁壁が破損しており、崩壊の危険性があります。事前対策として必要と思われませんが、ブロック若しくはコンクリート擁壁とする考えがあるかについて町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） コミュニティ広場の道路側の擁壁については、承知をしている場所でございます。福井団地地域の公民館等々の施設の管理運営については、住宅供給公社とのいろいろな絡みもあった中で整備をしてきた経過もございますけれども、あの場所については、1つは町の町有地になっております。そして、緊急避難の避難所に指定をしている場所でもございます。その南側には、町道が走っている場所にあるものですので、どういう方法が良いのかはともかくとして、危険の無いように町として処置をしていかなければならないだろうと考えております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 工事实施するのは、いつ頃までにしていただけるかということもあるわけですが、これも質問お願いしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 予算額というか、工事費にもよりけりだと思っておりますけれども、もう1度、担当職員に現場にどの程度の危険度があるのか、そして簡単な見積を見る中で早急な対応が必要であれば今年度中にも補正をしたいし、少し余裕があるようでしたら実施計画を立てた上で、次年度以降の着工と考えています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） よろしくお伺いいたします。以上で質問を終了いたしますが、集落発展のため、町民の皆さん方と行政と議会が切磋琢磨し、力を合わせて飯綱町を作り上げてはと思って

おります。飯綱町全体が一步一步前進できるよう願いを込めて、質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

○議長（清水満） 清水議員、ご苦労様でした。

暫時休憩に入ります。再開は14時からといたします。

休憩 午後 1時45分

再開 午後 2時00分

◇ 樋 口 功

○議長（清水満） それでは休憩前に引き続き会議を再開します。一般質問を続けます。

発言順位10番、議席番号11番、樋口功議員を指名します。樋口功議員。

〔11番 樋口功 登壇〕

○11番（樋口功） 議席番号11番、樋口功です。通告に従いまして順次質問をさせていただきます。

私はここにUターンをしまして5年目を迎えました。感じてはいたわけですがけれども、特に長電の牟礼線を走るバスを見て、だいぶ変わったな、こんな思いをいつも持っておりまして、長野駅からこちらに来るJR信越線の名前が変わったり、iバスなどというものは全く知りませんでした。

議員になりまして、少しこの交通機関というものがどうなっているのだろうか、自分でも勉強したくなりまして、いろいろ調べて今日に至っております、不正解な部分があるかもしれませんが、その辺はまたお許しをいただきますと同時に、今日は提案型の質問ということで、若干私のしゃべりが長くなるかもしれませんが、その辺はお許しいただきたく思います。

飯綱町におけます主要な交通機関は常時定期路線としての鉄道、いわゆるしなの鉄道北しなの線、そしてバス路線の長電牟礼線、それからこれらを繋ぐiバスです。iバスは、町の交通空白地域、それから交通不便地域を解消し公共交通機関の公平性の観点から、基本方針としてみんなに便利で分かりやすい、環境に優しい公共交通システムを掲げまして、平成18年6月か